

## 長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

### 1. 第三者評価機関名

医療福祉評価センター

### 2. 事業者情報

名称： 大村市三城保育所	種別： 認可保育所
代表者氏名： 戸島 喜久子	定員（利用人数）： 90 名
所在地： 大村市西三城町126	
Tel : 0957-52-2257	Fax : 0957-52-2257

### 3. 総評

◇特に評価の高い点

#### ① 自然や社会へ親しむ活動

『自然や社会の事象に対する関心を育てる』が保育目標の一つである。周囲を川や土手・田んぼに囲まれ、神社、公園等の文化施設も多く自然環境にめぐまれ、ほぼ毎日散歩に出かけ、自然と親しみ、地域住民とふれあい、伸び伸びと元気に遊ぶ子ども達が印象に残った。

園庭にぶどうの木が植えられており皆で収穫する等季節の食材を楽しむ機会も設けている。

#### ② 保育所の運営に枠をはめない子育て支援

こどもセンター利用の親子や健診の際、保育所（園）を遊びの場として紹介してもらうなどの連携をとっている。園庭をほぼ毎日開放し、七夕、ひなまつりの集い等保育所の行事を体験する『あそびケーション』を行う等、子育てに悩む保護者が気軽に訪問できる環境を整備している。保育所のこどもに限定しない子育て支援の活動に積極的であり、子育てに関する相談も増加しているとのことである。これは、子育て支援の活動が地域に根ざしている表れである。

#### ③ いつほ会での活動

大村市公立保育所の保育士が集まった勉強会（いつほ会）が開催されている。指導計画の原案を持参し、保育士で話をしながら、評価・検討を行い、総合的な視点から指導計画を作成している。さらに、期間を決めてお互いの保育所を見学し、感想・気づき等の評価を行い改善につなげている。臨時職員（短時間保育士も含む）も参加し、保育士のスキルアップにつなげている。

◇ 改善を求められる点

①これまでのノウハウを集めたマニュアルの整備

感染症対策、安全性に関するマニュアル等リスク対応のマニュアルは整備されているが、個々の保育場面についての、標準的な実施方法の文書化は不十分であった。保育サービスは専門性が高く、また環境の変化とともに対応方法も変化している。さらに、保護者は、ベテラン、新人、臨時、どの保育士からも同じ保育サービスを受けたいと望んでいる。現在は、ベテランの保育士が多く手厚い人員配置のため現場での職員教育で質は保たれているようであるが、標準的な保育方法についてのマニュアル化が望まれる。

②リスクマネジメントへの対策

発生した事故については、各クラスの連絡ノートに記載したり、保育士へ口頭で周知したりしている。また、大きな事故(安全保険に関わる場合)でこども政策課へ報告が必要な件は「事故報告書」としてこども政策課へ報告している。しかし、小さな事故も積み重ねれば、大きな事故へ発展する可能性がある。ヒヤリハットも含め、事故の結果を収集し、分析して今後の事故防止に結びつけることが望まれる。

4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けるにあたり、自分たちの保育を自己評価する為に、職員間で話し合いをもち、文書化していく作業をすすめるなかで、今までの保育を客観的に見つめるきっかけになり、いろいろ気づきをもたらしたように思います。

今回の第三者評価の結果を受け、さまざまな課題が見えてきました。そのひとつとして、保護者の方の要望に応え、保護者懇談会を定期的を開催し、子どもの育ちを保護者と共に見つめていきたいとします。また、危機管理マニュアルに基づいて保育所が対応していることや保護者の方が不安に感じているらっしゃる、不審者への対応など文書化して伝える大事さを感じました。

保育に関しても、マニュアル化すること・明文化することの意味を学んだ気がします。保育は、保育者の経験によって培われることが多いようですが、それを文書化することで保育サービスの質の均一化が図られ、よりよい保育の提供につながると思います。今後、できることから課題に取り組んでいき、保育の質を高めていきたいとします。

5. 各評価項目にかかる第三者評価結果  
(別紙)

# 事業所情報（保育所）

（平成 19 年 11 月 1 日 現在）

<u>施設名</u> 大村市三城保育所
------------------------

## 1. 基本情報

郵便番号	856-0825		
所在地	大村市西三城町 126		
TEL	0957-52-2257	ホームページ	<a href="http://www.city.omura.nagasaki.jp/info/prev.asp?fol_id=4908">www.city.omura.nagasaki.jp/info/prev.asp?fol_id=4908</a>
FAX	0957-52-2257	E-mail	<a href="mailto:sanjyou-hoikusyo@city.omura.lg.jp">sanjyou-hoikusyo@city.omura.lg.jp</a>
施設までの 利用交通手段	大村駅より徒歩 5 分		
開設年月	昭和 32 年 4 月 1 日	開所時間	7 : 30 ~ 19 : 00
敷地面積	1,778.30 m <sup>2</sup>	建物面積	734.00 m <sup>2</sup>
経営主体	大村市	施設長名	戸島 喜久子

## 2. 職員体制（複数の資格取得している場合は、重複計上してください）

専門職	常勤	非常勤
保育士	27 名	
保健士・看護師	1 名	
栄養士		
調理員	4 名	
その他		

### 3. 保育所の方針

#### ～自分で考え行動できる子ども～

- \* ひとり一人の育ちを大切に、情緒の安定を図る
- \* 人に対する思いやりの心を育てる
- \* 自然や社会の事象に対する関心を育てる
- \* 豊かな感性を育て創造性の芽生えを培う

### 4. サービス内容

対象地域	全市及び広域保育も行っています。						
対象年齢	0歳児から5歳児						
入所定員	90名						
入所児童	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	12	14	18	22	19	22	107

保育内容	有・無	具体的な内容（利用時間、詳細料金等）
0歳児保育	有	産休明けより受け入れていきます。 調乳室完備、沐浴室完備、離乳食実施しています。 ほふく室有ります 7:30～18:30（延長保育有ります）
障害児保育	有	健常児クラスにて平常保育を行っています。 障害児の場合は、基準に基づき保育士を換算し配置しています。 7:30～18:30（延長保育有ります）
延長保育	有	18:30～19:00（利用料金は、1人300円） おやつ時間を設けています。
夜間保育	無	実施していません
休日保育	無	実施していません
病後児保育	無	実施していません
一時保育	無	実施していません
子育て支援センター	無	実施していません
子育て支援への取り組み	有	園庭開放・あそびの提供・育児相談・電話相談などの取り組みを行っています。

サービス名	備考
健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の健康管理や体調の変化には、保育士・看護師が十分配慮した保育を行っています。</li> <li>・看護師による健康指導を行っています。</li> <li>・年2回の健康診断実施、結果のお知らせをしています。</li> <li>・年1回の歯科検診、結果のお知らせをしています。</li> <li>・歯科医によるブラッシング指導を実施しています。</li> <li>・月1回の身体測定を行っています。</li> </ul>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完全給食（未満児おやつ・給食・おやつ）を実施しています。</li> <li>・アレルギー除去食や体調に配慮をした給食を実施しています。</li> <li>・月齢に合わせた離乳食の実なしています。</li> <li>・簡単なクッキング保育を実施し、食育へとつなげています。</li> </ul>
休日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜、祝祭日</li> <li>・年末、年始の休み(12/29～1/3)</li> </ul>
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の老人施設や地域の行事などに参加するとともに、地域にある学校からの実習・体験学習の依頼等については、積極的に受け入れ、世代間の交流の場として位置づけ心の交流へとつなげています。</li> </ul>
保護者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ちを保障する為、保護者の方との連携を大切にしながら日々の保育を行っています。</li> <li>・保育所行事などは、保護者の協力を得て、保護者と職員が一緒に取り組みよい成果を挙げています。</li> <li>・就学児の保護者懇談会は毎年実施しています。</li> <li>・個別の育児相談、お子さんの発達相談にも応じています。</li> </ul>

#### 5. 事業所から利用者（希望者）の皆様へ

三城保育所は、家庭的な奮闘気のなかで、安心して過ごし、こども達が自分のしたいことを見つけ納得するまで思いっきり遊べる環境を整えたり、恵まれた自然環境(田んぼや土手、川)を活かした保育を行っています。地域との連携を大切にするうえでも、世代間の交流や地域の催しに参加しながら社会と関わる力を育てるように努めています。

こども達にとって“自分の居場所”があり、保護者の方にとっても“ほっとできる場所”でありたいと思っています。

全職員が、こども達のひとりひとりの育ちを大切にしています。

6. 施設の公開、実習生、ボランティアの受入について

施設の公開・見学	実習生の受入	ボランティアの受入
<p>見学希望者は、あらかじめ連絡を受け、常時受け入れを行っています。</p> <p>在宅親子に対しては、園庭開放や保育行事参加、遊びの場、子育て相談の場としても提供しています。</p>	<p>実習希望者は、あらかじめ連絡を受け、事前説明を行ってから受け入れていきます。</p> <p>(地域の中学校・高校・看護学校実習生の受け入れをはじめ専門学校・短大生・大学で児童福祉を学ぶ学生など)</p>	<p>ボランティア希望者は、あらかじめ連絡を受け、受け入れていきます。</p>